

平成25年度 第2回 神林地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成25年9月2日(月)13:30～15:00
2. 開催場所 神林支所 3階第4・5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、坂上孝雄、佐藤巧、伊與部眞士、竹内友二、鈴木誠兒
須貝慎一郎、大矢友子、横山一巳、渡辺優子、遠山千賀子
4. 欠席委員 竹内徹
5. 出席職員 板垣神林支所長
(事務局) 地域振興課；山田室長、木村係長、斎藤主査、東主査、田村主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第2回神林地区地域審議会次第

日 時：平成25年9月2日（月）
午後1時30分～
会 場：神林支所3階第4・5会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

- (1) 神林地区地域活性化推進事業について
- (2) 神林地区地域活性化推進事業企画書について
- (3) 第3回以降地域審議会の審議事項について

4. そ の 他

5. 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13:30)

事務局； (定刻になったことを告げ開会し、本日の欠席者の報告を行った。会長にあいさつ及び議事の進行をお願いした。)

2 あいさつ

会 長； (本日の審議会の議事の内容を説明し、委員へ活発な審議を依頼してあいさつとした。)

3 議事

(1) 神林地区地域活性化推進事業について

(2) 神林地区地域活性化推進事業企画書について

(3) 第3回以降地域審議会の審議事項について

会 長； それでは、議事に入ります。議事の(1)神林地区地域活性化推進事業について、(2)神林地区地域活性化推進事業企画書について、(3)第3回以降地域審議会の審議事項について、関連がありますので一括して事務局から説明をお願いします。

事務局； ご説明します。

(1) 神林地区地域活性化推進事業について

(2) 神林地区地域活性化推進事業企画書について

(3) 第3回以降地域審議会の審議事項について

一括説明。

会 長； ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問のある方はありませんか。

委 員； 1点目は、地元のバスツアーは誰が行うのか。ツアーを行うには資格者が必要になるので、資格を持っている人が地域にいるのか。

2点目は、マップを作って何を紹介するのかが分からない。

3点目は、神林地域は農林業が中心の地域ですが、観光がメインか、農林業がメインかどちらになるのでしょうか。

事務局； 1点目の誰が行うのかですが、市の事業として地域振興課が担当して行います。ツアーですが、参加費はいただきず、行き先々で食事、買い物をしてもらう形を想定しています。予算の50万円は、バスの借り上げ料、協力者への謝礼などに使いたいと思っています。

2点目のマップの紹介の中身ですが、現時点では白紙の状態です。1度作ったら終わりではなく、イベントや農産物の収穫時期など、その都度、時期に合った内容のマップを想定しています。

3点目の何がメインなのかですが、観光の文字を先に出していますが、ご指摘のとおり神林地区は農林業が中心の地域ですので、文言を変えていきたいと思えます。

委 員； 資料1に、「事業実施に際しては、これまで活動してきた団体や関係者から協

力を仰ぎ、それぞれの活動の成果が発揮できるように連携して計画実施する。」とありますが、とても良いことなのでぜひ実施してもらいたいと思います。

また、資料に「地元を知るバスツアー」と書かれていますが、知るではなく地元を売り込んでいくようにしないといけないと感じますので、地元を売り込むバスツアーとしたほうが良いと思います。

もう1つは、「神林」という名前をキーワードとして捉えていることは良いことだと思います。

事務局； 「地元を知るバスツアー」としたのは、昨年の審議会で地域回りを実施した際も委員の方でも初めて来た、知ったという場所があり、神林に住んでいても、他地域に行ったことが無い、知らないという人がかなりの数いると思ったからです。まずは他地域の人を呼ぶより、地元の人をターゲットにして、「地元を知るバスツアー」としました。あくまでも案ですので、これからご検討をお願いします。

委員； 地元の人が地元を知るということは、悪いことではないが今さらという感じがします。地域の人が協力して、他地域へ発信して人を呼ぶ、売り込むことを行っていかなければと思います。

委員； 私は2段構えにして、地元を知らない発信はできないし、知っているようで知らないこともあるので、まずは地元の人が地元を良く知る、再確認する。その上で他地域への発信、アピールをしていけばと思います。時間的に余裕があるのでできると思います。

委員； 地域を見る前に、現在神林で活動、頑張っている団体に集まってもらい、その方たちの声を聞いてからのほうが良いと思います。マップに関しても、団体などがすでに出しているものに予算を使って、バージョンアップしてもらほうが良いマップができると思います。

委員； 私も活動している団体に集まってもらうことには賛成です。

私は、見る、楽しむ観光でなく、地元で行っていることを実際に体験してもらえらる観光が良いのではと思っています。

委員； その観光に必要なものは、インストラクター、説明する人ですので、インストラクターの育成が必要です。

委員； 山北地区では、村上桜ヶ丘高校の写真部に協力してもらって、写真を通して地域をアピールしていますので、さまざまな方法が考えられると思います。

会長； 今日の会議ではどこまで決めますか。

事務局； 今日は、ただ今発言いただいているように、これからどのような方法で進めて行くのかを決めていただいて、次回以降にそれに沿った詳細な実施方法に入っていければと考えています。

委員； まちづくりとの関係も出てくると思うし、もし連携できる場所があれば連携したほうが良いと思うので、砂山地域と西神納地域の会長さんがいますので、活動状況を聞かせていただきたいと思います。

委員； 今日の資料で2ページの資料2の3番、資料事業化までのフローを見ると、事業実施が平成27年度からになっていますが、地元の人が地元を知ることは3

年間も必要なくもっと早く実施できると思います。平成28年度までには、その先のことを決めて実施していけば良いと思います。

事務局； ただ今までいろいろご意見を出していただきましたが、この地域活性化推進事業の目的は、地域活性化をするきっかけを作りたいということです。そのために、今神林で行っていること、地元のことを地元の人にもっと知ってもらいたいということです。

もう一つのまちづくりとの関係ですが、神林には五つの協議会があります。現在はそれぞれの地域ごとの事業を行っています。神林地区全体で何かを行うことが無くて、欠けているところです。

まちづくり事業も含め、神林地区内で単発で行われている事業を、地域活性化推進事業の地元を回るバスツアーとタイアップして、神林地区を知ってもらい、繋げてもらうことができればと思っています。

ただ今委員から発言があったように地元を知るところを早めに行って、次のステップとして地区外に発信して、人が来てもらえるようになればと思います。この事業を単発で終わらせないで、次の段階に進み、継続できるきっかけの事業にしていきたいと願っています。

委員； 何のために行ったか成果が上がらなければ、予算を使った意味がないものになってはいけません。ツアーを企画する場合は、行政が関わらないで企画するようにしなければいけないと思います。神林では、希楽々ができると思うので企画してもらい、審議会で協力、タイアップしていくようにすれば良いと思います。

委員； 希楽々として、審議会でどういう場面で協力できるかと以前から思っていたので、ご協力はできると思います。

事務局； コーディネートは希楽々にお願いして、行政は中間役としてコーディネートしてもらったものを実現するために、関係する団体との話し合いの設定や段取りを行っていく役割を担うことだと思います。

注意する点としては、これまでの審議会で述べられていましたとおり目的がはっきりしないので、むやみにいろいろな人、団体に集まっても座談会で終わってしまう恐れがあるので、目的が決まった時点で関係する団体で話し合うようにしていくことだと思います。

今日の審議会では、神林地区活性化推進事業の事業名が決まっていますので決めていただいて、事業の内容を話し合っただけだと思います。

委員； やり方は今言われたとおりで良いと思います。

何のために行うのかといえば、自分の住んでいる土地の価値の再発見、再認識をし、全ての人々が共通認識として分かり合うこと。そして、地元の人々が地元の良いところをPR、アピールできるようになることだと思います。また、この活動を行っていることそのものを、他地域にもっとわかるようにアピールすることが活性化に繋がっていくと思います。

観光という言葉を使うと趣旨が違って来る、誤解を招くと思うので使わずに、訪ねたところの頑張っている人が表に出る場を作ることが重要だと思います。

います。

委員； 地元で頑張っている人が何をやっていて、どれくらいの人がいるのか、事務局で把握していたら教えてください。

事務局； 申し訳ありませんが、把握はしていません。

委員； 知ってほしいと思っている団体の数が多いほど、この事業は活発になると思います。またインパクトのある活動をしている団体があると、人が来てくれると思いますが、この地域に無いのがとても残念に思っています。

委員； 活動している団体を把握できていないのが現状なので、一同に集まってお互いの活動を出し合い、情報交換する場を設けることが必要だと思いました。

その次に、地元を再発見する、知ってもらうことを目的に、現在地区内で活動、頑張っている団体が行うイベントをリレー形式でPR、広報する。バスでまわらなくても、資金をかけずにできて効果があることと思います。

そうして、最終年度に地域外の人に来てもらうための事業に繋げていくようにすれば良いのではと思います。そうすれば活動している人が、自分の出番がここにある、地域外の人に来て見てもらって、モチベーションを上げていくことに繋がるのではと思います。

委員； 私も今の意見に賛成です。

仮にバスで観光して帰るだけでは、後に繋がっていかないと思います。観光した後に感想、意見を出し合い、話し合いをもって、改善点、反省点などを洗い出して終わるようにしないと意味がなく次に繋がっていかない。できるのであれば、このやり方が良いと思います。

委員； JAかみはやしでは、これからの農業や伝統文化などをいかにして次世代に繋げるかをテーマに活動しています。その一つとして、集落の中が活性化しないと地域も活性化しない。もう一つとして子どもたちに、集落、農業に興味を持ってもらえるか、教えていけるかです。そういう意味から、この地域活性化推進事業に協力できると考えています。

委員； 今まで話に出ていたとおり、いかにして神林をPRしてけるかだと思います。先ほど希楽々に委託するという提案がありましたが、今までも希楽々に委託したことはありますか。

委員； 何件かありました。

事務局； 全てを委託するのではなく、企画をしていただくことです。

会長； ほかの委員の方はいかがでしょうか。

委員； 私たち地元に住んでいるものにとって神林は、自然だけであとは何も無いところですが、都会の人から見れば自然が何よりの魅力と感じる人もいるので、団体や個人の方の意見も取り入れ、神林めぐりも行って、平成27年度から平成28年度には神林の良さを、地区外の人に売り込んでいければと思います。

委員； 今までさまざまな意見が出て何を主体にするのか分からないので、シンプルに考えて地元の人のバスツアーを行い、施策を検討し、平成27年、平成28年に地区外にPRできるようにしたら良いと思います。

会長； 全員の意見が出ましたが、事務局どう進めますか。

事務局； 事務局案としては、これまで神林を知らせる、知ってもらうということで進めてきましたが、正式にこれから進めて行くテーマを決めていただきたいと思っています。

委員； 神林を知らせる、知ってもらうがテーマで良いと思います。

会長； 事務局から提案されている「神林を知らせる、知ってもらう」をテーマとしてよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

事務局； 皆さんのこれまでの意見としては、神林の人に地元を再発見してもらうバスツアーを行う、そのツアーの方法と地区外の人へのPRの方法を希楽々にお問い合わせして企画してもらう、その企画に沿って実行に移していくことでよろしいでしょうか。

委員； 希楽々にお問い合わせすることで良いと思います。

会長； ただ今、事務局からの提案のように進めてよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

委員； 村上地区など他の地区と組み合わせることも可能だと思います。

委員； 区長にお願いして、集落の頑張っている人を教えてもらえば良いと思います。そこから始めれば良いと思います。

事務局； ただ今の委員のご意見は、事務局の方で区長にお願いします。

委員； 希楽々に企画依頼をするにあたって、市で趣旨、骨格を決めて委託しなければいけないと思います。

委員； ただバスで回るだけでは意味がないし、バスを使うと予算が必要になるが、バスを使わなくてもイベントの情報を発信して行ってもらうように仕組み、イベントのリレーをさせることも考えられると思います。

委員； その方法であれば、お金はかからないと思います。

事務局； それでは、これから基本的には「神林を知らせる、知ってもらう」をテーマにして、事業のやり方としては、希楽々に企画依頼する内容を決めて、企画書を再提案させていただきます。

活性化推進事業としては、テーマは決まりましたし、事業立案の方向性、企画には希楽々に入ってもらって、どういうことができるか決めていきたいと思っています。そして、第3回の審議会に提案させていただきたいと思っています。

会長； ただ今事務局から提案がありましたが、活性化推進事業の立案の方向性、企画には希楽々に入ってもらって検討していくことでよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

会長； そのほかに、何かありませんか。

委員； まちづくり協議会で行っている内容を聞かせていただけないでしょうか。

会長； 砂山地域と西神納地域の会長さん、大まかでもいいのでお願いできますか。

【砂山及び西神納地域まちづくり協議会長が、活動内容を説明】

委員； まちづくりは、自分の住んでいるところを誇りに思い、いつまでも住んでい

たいと思ってもらえるようにすることだと思っています。自分の地域に誇りを持ってないまちづくりでは、どんな事業をいくつやっても何にもならないと思っています。

会 長； ありがとうございます。

4 その他

会 長； その他ということで、事務局何かありますか。

事 務 局； ありません。

会 長； みなさん、他にありませんか。

委 員； 神納東地域に山元遺跡がありますが、この遺跡について今後どうしていくか決まっていることはありますか。

事 務 局； 歴史的に貴重な遺跡ですので、市の遺跡担当者の説明会などを行ったりすることもあるかと思います。大事な宝ですので、守っていかなければならないと思っています。

会 長； 他にありませんか。無いようですので、これで地域審議会を終わります。

副 会 長； 長時間にわたり慎重審議をいただき、ありがとうございました。本日はこれで終わります。ご苦労様でした。

5 閉会 (15:00)